

聽天裁謹以申聞、謹奏聞、

弘仁十四年二月三日

〔日本書紀二十六〕四年、是歲越作起國守阿作河原部引田臣比羅夫、討肅慎獻生熊二熊皮七十枚、

〔續日本紀元四〕和銅元年三月丙午、從五位下高志連村君爲越前守、

〔倭名類聚抄五〕越前國府在丹生郡、行程上七日、下四日、

〔催馬樂〕律 道口 一段、拍子十三、與更衣同音

みちのくち、たけふのこふに、われはありと、おやにはまうしたべこ、ろあひのかせやさきんだちや、

〔催馬樂譜入文中〕みちのくち、たけふのこふに、こは越前國丹生郡武生國府を云ふ也、

〔太平記十八〕越前府軍并金崎後攻事

北國ノ道塞テ、後ニ敵アラバ、金崎ヲ責ン事難儀ナルベシ、如何ニシテモ、柚山ノ勢ヲ國中ヘハビコラス様ニセデハ、叶マジトテ、尾張守高經、北陸道四箇國ノ勢三千餘騎ヲ卒シテ、十一月廿八日

ニ蕪木ノ浦ヨリ、越前ノ府ヘ歸給フ、

〔越前名勝志上〕府中 越前ノ府ナリ、古ヘハエチゼンノ國司代々一任四年ノウチ、コノトコ

ロニ居スト云々、ソノ後ハ城主、前田又左衛門尉利家、丹羽鍋丸、木村常陸助、青木紀伊守、堀尾帶刀、

當時本多家代々慶長六、越前中納言秀康ノツケ家老、

〔倭名類聚抄五〕越前國略管六註敦賀都留丹生爾不今立伊萬足羽安須大野於保坂井佐加

〔延喜式二〕越前國大管敦賀今立足羽右爲遠國

〔易林本節用集下〕越前州大管十二郡略敦賀府丹生今立足羽大野坂井黑田池上榑田吉田坂北

南條ナシヂウ

郡

國府